

**取扱い：平成30年1月15日朝刊以降解禁**

平成30年 1 月 12 日（金）  
国土交通省 関東地方整備局  
川崎国道事務所

**記者発表資料**

**国道16号町田立体ランプ他改良工事において  
「見積活用方式」「間接工事費実績変更方式」を試行**

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「国道16号町田立体ランプ他改良工事」は、東京都町田市鶴間地先において、擁壁や跨道橋設置等を行うものです。

本工事は、非常に交通量の多い東名高速道路（横浜町田IC）や国道16号などに囲まれた狭小な施工ヤードで工事を行うため、作業効率が低下することが懸念されます。

このため、標準的な積算と当該現場の見積もり（実勢価格）に乖離が生じることが予想されることから、以下の試行を行います。

**①「見積活用方式」**

本工事は、入札参加者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

見積を求める工種は、直接工事費の「擁壁工」「仮設工」「橋台工」とし、予定価格作成のための参考とします。

**②「間接工事費実績変更方式」**

本工事は、「運搬費」「安全費」において、標準的な積算と実勢価格に乖離が予想されるため、その妥当性を確認の上、実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

**発表記者クラブ**

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、  
神奈川県政記者クラブ、川崎記者クラブ、横浜ラジオ・テレビ記者会

**問い合わせ先**

国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所  
電話 044-888-6411（代表） FAX 044-865-4888  
副所長 今 春彦（こん はるひこ）【内線：204】  
工務課長 菊池 正彦（きくち まさひこ）【内線：411】

## 《 見積活用方式、間接工事費実績変更方式の工事概要 》

- (1) 工 事 名：国道16号町田立体ランプ他改良工事
- (2) 工事場所：東京都町田市鶴間地先他1箇所
- (3) 工 期：工事の始期から334日間（工事着手期限：平成30年4月1日）（予定）
- (4) 入札方式：一般競争入札 総合評価落札方式 施工能力評価型Ⅱ型
- (5) 工事種別：一般土木工事
- (6) 工事内容（概要）  
道路土工 1式、擁壁工 1式、PC橋工 1式、橋台工 1式、  
標識工 1式、仮設工 1式 ほか
- (7) 見積の提出を求める工種「見積活用方式」
  - ・ 直接工事費のうち、擁壁工、仮設工、橋台工に係るもの
- (8) 見積の提出を求める理由  
本工事は、非常に交通量の多い東名高速道路（横浜町田IC）や国道16号などに囲まれた狭小な施工ヤードで擁壁や跨道橋の設置等を行うものです。  
施工にあたっては、現道（東名高速道路、国道16号等）の交通への影響を軽減しながらの施工が必要であり、また、狭小な施工ヤードでの施工となることから作業効率の低下が懸念されます。  
以上より、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、「見積活用方式」を試行します。
- (9) 実績により変更を行う工種「間接工事費実績変更方式」
  - ・ 共通仮設費（率分）のうち、運搬費、安全費
- (10) 実績により変更を行う理由  
本工事は、非常に交通量の多い東名高速道路（横浜町田IC）や国道16号などに囲まれた狭小な施工ヤードで、交通規制を行いながらの作業となるため作業効率の低下が懸念されます。また、資材置き場等の確保が困難であり、資機材運搬等について、資材置き場と現場の往復が日々発生します。  
以上より、運搬費や安全費において標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、その妥当性を確認の上、実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。
- (11) スケジュール  
○入札公告：平成30年1月15日（月）  
○開 札 日：平成30年3月 2日（金）